



# 中央検査部だより



2020年1月吉日発行 第71号

## 新年のごあいさつ

中央検査部 技師長 渋田 秀美

新年、明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年は検体検査部門システムの更新、検体搬送システムの新規導入とこれに伴う検査部内レイアウトの変更という大きなイベントを控えて幕を開けました。2月には無事に運用を開始することができましたが、これは準備のために多くの技師、関係者が毎晩遅くまで作業し、休日返上で頑張った成果です。ここにあらためて御礼申し上げます。今後は新部門システム、検体搬送システムのメリットを最大限に活かし、質の高い臨床検査の提供ができるよう努力していきます。

また、検査部では常々、医師、看護師をはじめとした他職種医療従事者の負担軽減を念頭に、業務改革を進めてきました。長年の懸案事項であった外来採血も本年4月より、一部を検査部の臨床検査技師が担当することになりました。中央検査部としては大きな一歩を踏み出すこととなります。これを契機として「更なる病院診療への貢献」を念頭に努力していきますので、皆様からの一層のご指導、御協力をお願いし、新年のご挨拶といたします。

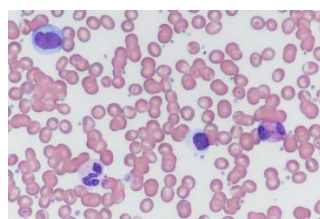


## 血液検査室紹介

血液検査室では、CBCや凝固検査、血小板凝集能検査、骨髄検査などを行っています。分析装置での測定のための機器メンテナンス、顕微鏡での白血球目視分類、また骨髄検査では穿刺の際ベッドサイドまで出向き標本作製をしたり、必要に応じて特殊染色をしたりと、多様な業務がありますが、現在5名のスタッフで日々奮闘しています。

CBCは分析装置3台、凝固検査は分析装置2台の運用となっており、機器トラブル時や夜間休日での検査も対応可能にし、より迅速に結果を返せる体制にしています。緊急検体の場合、CBC：30分、凝固検査：45分以内での報告を目指しており、特にCBCは検査室の中で最も早く検査結果を報告できる項目の1つだと思います。検査値異常にいち早く気付ける私たち血液検査室から臨床側へ、正確な結果を迅速にお返しし、医療に貢献することのできるよう、これからもスタッフ一同努めてまいりたいと思います。

ご質問、ご要望などありましたら、お気軽に血液検査室にお問合せください。



末梢血液像



CBC 分析装置



凝固分析装置



## 輸血機能評価認定 (I&A) の更新審査に無事合格しました

平素は、安全な輸血医療実施のためにご協力いただき有難うございます。

当院の輸血検査室は、日本輸血・細胞治療学会が認定している輸血機能評価認定 (I&A) を 2009 年に取得しました。2019 年に 2 回目の更新審査を受審して、無事に認定継続となりました。更新審査の時にご協力いただいた関係者の皆様方にはお礼申し上げます。

I&A とは、inspection(点検)して accreditation (認証)するシステムです。各施設において、適切な輸血管理が行われているか否かを第三者によって点検し、安全を保証することです。全国で 150 施設の病院が認定されており、山口県内では当院含めて 2 施設のみが取得しているのが現状です。



今回の審査では、輸血前に適応と製剤の種類についての記録が電子カルテにあるか、また輸血後の評価の記録があるかの確認がありました。病院機能評価受審前で、電子カルテへ詳細に記録されている症例が多くて助かりました。今後も、輸血前後の患者の状態についての記入をお願い致します。

輸血実施についての疑問や質問などありましたら、内線 502 までお問い合わせください。

お忙しい時に、輸血に関する問い合わせやお願いの連絡をすることが多々あると思いますが、ご協力をお願い致します。

輸血検査室

## 学会参加報告

10月に横浜で開催された日本臨床検査自動化学会第51回大会に参加しました。そこで「可溶性フィブリンモノマー・フィブリノゲン複合体 (SF) 測定試薬：ナノピア SF とイアトロ SF の比較」という題目で論文賞をいただき、受賞講演を行いました。光栄な晴れ舞台での講演にとっても緊張しましたが、貴重な経験をさせていただくことができました。また最新の機器展示や凝固に関するセミナーなどに参加し、大変勉強になりました。今後の業務に生かしたいと思います。SF は院内で測定可能な項目ですので、先生方にもぜひ興味をもっていただければ幸いです。



血液検査室 中里 萌

## 生理機能検査室よりお知らせ

超音波レポートに「医師コメント機能」が追加されました。これは「レポート内容や検査に対するご意見を検査技師へ簡便に伝えることができる機能」です。コメントはレポートには反映されず、生理機能システム上での運用となります。いただいたご意見は今後の超音波検査の向上に役立てたいと思います。なお、いただいたコメントへの返答には時間を要する場合もあるため、至急の要件の場合は電話連絡をお願いいたします。コメント機能の使用方法に関しては、電子カルテのライブラリをご参照ください。たくさんのご意見をお待ちしております。

生理機能検査室 内線(515)